

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年9月21日（木）

2 確認箇所

多核種除去設備等処理水希釈放出設備

- (1) 測定・確認用設備（K4タンクエリア）
- (2) 処理水移送配管ベント弁

3 確認項目

- (1) 測定・確認用設備における水位計点検の状況
- (2) 処理水移送配管ベント弁復旧の状況

4 確認結果の概要

- (1) 測定・確認用設備における水位計点検の状況

多核種除去設備等処理水（以下、「ALPS処理水」という。）の初回放出が9月11日に終了したため、東京電力はALPS処理水希釈放出設備の点検等を行っている。

放出される前のALPS処理水が保管されているK4タンクエリアでは、東京電力の作業員がタンク屋上に取り付けられている水位計の点検作業を行っていたため、現場の状況を確認した。（図1）

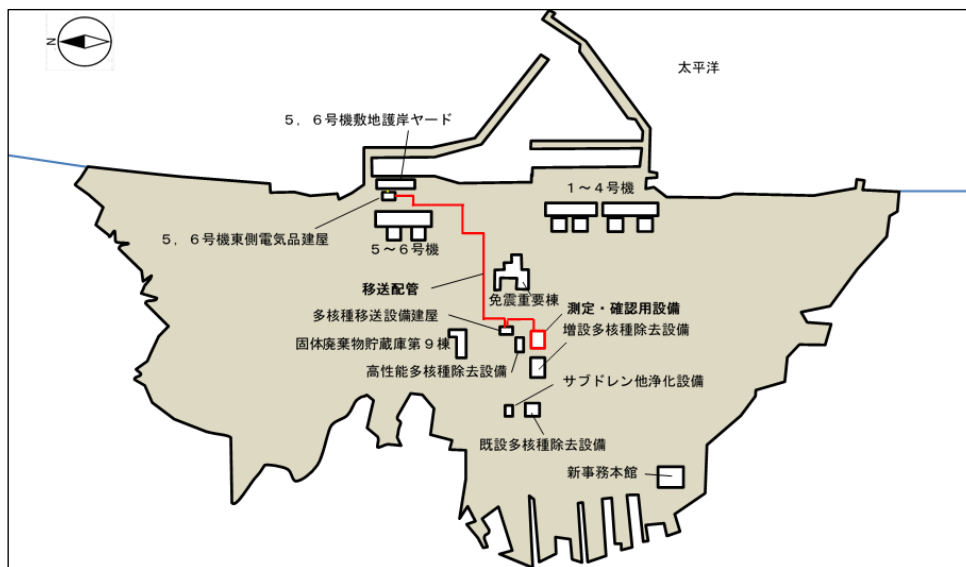
- ・K4タンクエリアにおいて、測定・確認用タンクは30基あり、本日はそのうちの10基の点検を5人で分担し、タンク屋上に上り、行っていた。（写真1）
- ・東京電力作業員によれば、屋上では水位計の状態や水位指示値を確認し、本体の指示値と遠隔監視の指示値を比較することだった。

- (2) 処理水移送配管ベント弁復旧の状況

9月6日、ALPS処理水希釈放出設備の処理水移送配管において、屋外ベント弁フランジ部の漏えい警報が発生した。この事象は当日の東京電力の調査により、ベント弁カバー内部に水分が確認されたが、ALPS処理水が漏えいしたものではなく、雨水または結露水であると判断された。現地では、水平展開として調査と再発防止対策が行われており、状況を確認した。（前回確認：[9月8日](#)）（図1）

- ・現地では、東京電力職員の立ち会いの下、委託作業員数名が、漏えい警報が発生したベント弁とは別の個体のベント弁カバーを開け、内部を確認していた。（写真2）（写真3）

- ・東京電力職員によれば、これまでの調査で、9月6日に漏えい警報が発報したベント弁以外に、ベント弁カバー内部に水分は確認されていないとのことだった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
タンク水位計の点検のため、タンク梯子を上る東京電力作業員



(写真2)
ベント弁カバー内部確認の状況



(写真3)
ベント弁カバー内部の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。